

にんにく農家の 元気だより

令和2年
2月1日発行



令和二年を迎えあつという間に立春の二月がやって来ました。テレビでは連日、新型コロナウイルスのニュースが飛び交っています。皆様お変わりございませんか？白川農場ではうがい、手洗いをこまめに行い、マスクを着用し業務を行っています。また、黒にんにくも欠かさず食べるように心がけており、白川農場従業員、皆元気に過ごしております。二月になると、そろそろ花粉が飛び始める時期ですね。当農場にも毎年花粉症に悩まされているスタッフがいいます。花粉が飛び始めると、「目がかゆい」「くしゃみが止まらない」と、とても辛そうな様子。そんな花粉症でお困りのスタッフに朗報が！

『黒にんにくの皮茶が花粉症対策になる』という記事をインターネットで見つけました。作り方は簡単。急須に黒にんにくの皮を入れて、お湯を注ぎじっくり蒸らして、カップに注ぐだけ！

すぐに試してみると、

「鼻の通りがよくなった！」と感動している花粉症スタッフ。黒にんにくの皮に含まれているポリフェノールが花粉症対策になるようです。効果にはもちろん個人差があります。しかし、黒にんにく茶にはごぼう茶の約10倍、玉ねぎ茶の約5倍のポリフェノールが含まれているそう。また、ポリフェノールの健康効果には殺菌効果、女性ホルモンバランスの調整作用、美肌効果、冷え性改善などの女性にうれしいことだらけ。

どんな効果が表れるのかスタッフで実験中。香りは黒にんにくの皮だけあって香ばしく、味はほんの少し酸味があります。梅こぶ茶を入れると美味しく頂けますよ。ぜひ、お試しください。試してみても何か効果があつたらぜひお知らせください。

皆様、疲れを溜め込まぬようしっかりと睡眠をとって素敵な春をお迎えください。



▲黒にんにくの皮をたっぴい入れて蒸らしています♪



▲スタッフ伏見で効果を実験中！

お客様の声を紹介

一月下旬にあった心があたたかくなつたお話。
同じ香川県内にお住まいの八十代の男性、岡田様よりご注文のお電話を頂きました。ご自身もにんにくなどを栽培していて産直市に出しているそうです。黒にんにくも作ることがあるそうで、作ることを大変さや味などにもとても詳しい岡田様。
「サプリメントみたいになにが入っているのか分からないものじゃなくて自宅の黒にんにくは自然のものやから安心して食べられる。応援しています。」
とうれしいお言葉を頂戴しました。岡田様との電話を切った後も一日中あたたかい気持ちになりました。岡田様、ありがとうございました。またお話できるのを楽しみにしています。

三豊市（みとよし）いいところ発見！

香川県三豊市豊中町（みとよし）とよなちうにある延命院では蠟梅（ロウバイ）が植えられています。

冬の冷たい空気の中、固く結ばれていた梅の蕾が、日差しを浴びてやわらかくほだけてきました。コロナと丸みを帯びた可愛らしい花がたくさん咲いていて、辺り一面いい香りが漂っているの、この香りにすーと誘われてたくさんの方がロウバイの花を楽しみに来るそう。

爽やかな春を感じさせる青空に黄色いロウバイのコントラストがとても美しい！
今年はずっと暖冬だったため、例年と比べると一週間ほど開花が早いけれど2月中旬頃まで見られるとのこと。寒さの中にも少しずつ春の気配を感じています。皆様の周りでも春の気配を感じられるものはありますか？

ご意見、ご感想はお気軽に
0120-372-229
までお願いします。

